

タイ・オイル(TOPn)

2018/12 期 2Q(4-6 月)は 47.5%増益、1,566.21 億 THB の石油精製施設建設プロジェクトが認可された

タイ | 精製・販売 | 業績フォロー

BLOOMBERG TOP:TB | REUTERS TOP.BK

- 2018/12 期 2Q (4-6 月) は売上高が前年同期比 20.8%増の 967.10 億 THB、EBITDA が同 63.8%増の 91.44 億 THB、純利益が同 47.5%増の 47.95 億 THB となった。
- 石油精製マージン (GRM) の低下や芳香族スプレッドの縮小に見舞われたものの、石油製品の平均販売価格や販売数量の増加により増収増益。純ヘッジ損益の伸びも寄与した。
- タイ投資委員会 (BOI) は、同社がチョンブリ県で計画する石油精製施設の建設プロジェクトを認可。投資額は 1,566.21 億 THB となる。

What is the news?

2018/12 期 2Q (4-6 月) は売上高が前年同期比 20.8%増の 967.10 億 THB、EBITDA が同 63.8%増の 91.44 億 THB、純利益が同 47.5%増の 47.95 億 THB となった。原油価格とガソリン価格の差が縮小したことによる精製マージンの縮小や、芳香族マージンや潤滑油マージンの縮小に見舞われたものの、販売数量の増加や石油価格と連動した製品の販売価格の上昇により増収増益。純ヘッジ収益や在庫評価益の計上も寄与した。

事業別の業績は以下の通り。石油精製事業は、売上高が前年同期比 21.8%増の 1,007.42 億 THB、EBITDA が同 69.6%増の 70.86 億 THB。芳香族事業は、売上高が同 13.0%増の 155.84 億 THB、EBITDA が同 24.5%減の 9.39 億 THB。潤滑油事業は、売上高が同 7.2%増の 50.26 億 THB、EBITDA が同 38.8%減の 4.63 億 THB。発電事業は、売上高が同 7.0%増の 28.80 億 THB、EBITDA が同 4.1%減の 6.78 億 THB。溶剤事業は、売上高が同 19.6%増の 25.24 億 THB、EBITDA が同 39.6%増の 1.48 億 THB。海運事業は、売上高が同 21.3%減の 1.59 億 THB、EBITDA が同 50.0%減の 2,200 万 THB。エタノール事業は、売上高が同 5.6%増の 3.79 億 THB、EBITDA が同 84.6%減の 1,600 万 THB。その他は、売上高が同 2.3 倍の 4.16 億 THB、EBITDA が 1,400 万 THB と前年同期の▲100 万 THB から黒字転換。なお、内部取引を売上高で 310.00 億 THB、EBITDA で 2.22 億 THB 含んでいる。

How do we view this?

タイ投資委員会 (BOI) は 9/13、エネルギーの大型案件など 4 件に投資許認可を付与したと発表。この中の 1 つとして、同社がタイのチョンブリ県で計画している石油精製施設が認可された。投資額は 1,566.21 億 THB の見通しで、航空燃料やディーゼル油など複数の燃料を生産し、拡大するタイ国内のエネルギー需要に対応していく。国家が推進している東部経済回廊開発 (EEC) の一部として、エネルギー供給面で重要な役割を果たすことが期待されている。2018/12 通期の市場予想は、売上高が前期比 9.5%増の 3,694.26 億 THB、純利益が同 25.5%減の 185.23 億 THB。

業績推移

※参考レート 1THB=3.47円

事業年度	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12F	2019/12F
売上高(百万THB)	293,569	274,738	337,387	369,426	363,951
当期利益(百万THB)	12,181	21,221	24,856	18,523	17,625
EPS(THB)	5.97	10.40	12.18	9.22	8.58
PER (倍)	14.57	8.37	7.14	9.44	10.14
BPS(THB)	45.28	52.38	59.91	64.46	69.08
PBR (倍)	1.92	1.66	1.45	1.35	1.26
配当(THB)	2.70	4.50	5.25	4.13	3.91
配当利回り (%)	3.10	5.17	6.03	4.75	4.49

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB)	4.13	(予想はBloomberg)
終値(THB)	87.00	2018/9/24

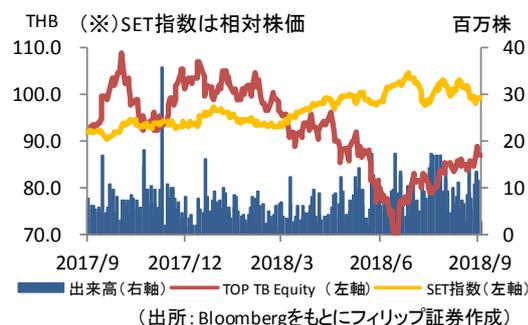
会社概要

1961年にタイ初の民間石油精製業者として設立。1980年にタイ石油公社(PTT)が同社株式の49%を取得した。タイ最大の石油精製業者で、石油や石油化学製品、芳香族、潤滑油基油、エタノールの製造・販売を行うほか、発電や海上輸送、パイプライン輸送、関連事業への投資などを手掛けている。

精製能力はタイ全体の約21%にあたる年間約120億リットルで、国内石油需要の約35%を満たしている。常圧蒸留工程から白油化工程に至るまで石油精製をトータルでカバーしており、アジア太平洋地域の代表的な高品質石油製品の生産者である。

企業データ(2018/9/25)

ペーパ値	0.91
時価総額(百万THB)	176,972
企業価値=EV(百万THB)	180,177
3か月平均売買代金(百万THB)	749.7



主要株主(2018/9)

1.タイ石油公社	49.10
2.Stock Exchange of Thailand Co Ltd	18.06
3.ステート・ストリート	4.44

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

+81 3 3666 6980

hiroki.i.hara@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。